

パナソニック社の例

昨年の東京・東北電力管内における対応であり、実際には全て2ヶ月前から対策を進め、コスト・ストレス共に大きな対策を含めて20%程度の節電を実施した。

(内訳は不明)

※仮に、昨夏の対応について、最低限必要と考えられた準備期間で整理すると以下のとおり。

<2ヶ月前>

- ・夜間への生産シフト
- ・自家発電機の容量増、レンタル導入
- ・自家発電機の稼働時間拡大(燃料調達、点検が必要)
- ・休日振替、勤務シフト
- ・他業界連動輪番生産
- ・生産の前倒し
- ・デマンド管理強化(システム導入済み)
- ・節電マニュアル作成、配布
- ・一斉定時退社、直行直帰拡大

<1ヶ月前>

- ・緊急省エネ診断実施
- ・設備・機器の使用停止と適正運用
- ・在宅勤務拡大

<2週間前～直前>

- ・空調(28℃設定)、照明の間引き

住友電工社の例

コスト・ストレス共に大きな対策を含めて20%程度の節電。

<2ヶ月前>

- ・発電機レンタル
 - ・休日シフト
 - ・大型設備の夜間稼働
 - ・設備停止
 - ・自家発・コジェネフル稼働(燃料調達、点検が必要)
- 節電効果17%程度

<2週間～直前>

- ・空調(間欠運転)、照明間引き
- 節電効果0.5%程度

※その他、昨年からの省エネ対策としての効果

- ・照明の高効率化
 - ・ファン・ポンプINV化
 - ・空調更新
 - ・高効率冷凍機・コンプレッサー導入
 - ・生産ライン集約、生産拠点統合等
- 節電効果3.0%程度